

令和4年2月定例会 諸般の報告 開会挨拶（2月24日：開会后）

失礼いたします。皆様おはようございます。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、令和4年第2回江田島市議会を開会するに当たり、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただき、深く感謝いたしております。

さて、第6波の感染拡大を引き起こしております新型コロナウイルス感染症は、全国で1日の感染者が5万人をはるかに超えるという事態が続いており、広島県においても、まん延防止等重点措置の期間延長を政府に要請し、3月6日までの再延長が決定をされました。

本市での感染者数は、1月のひと月で270人という急激な感染拡大から、今月は、22日現在、116人と改善の兆しもございます。しかしながら、全国で感染拡大のスピードの鈍化が見られる一方、重症者数の増加傾向が続いており、今後についても予断を許さない状況でございます。

このような中、編成をいたしました令和4年度予算案につきましては、私の1期目から数えて6回目の予算となります。

私が市長就任から一貫して掲げております重点テーマは、「しごとの創出」、「子育てしやすい環境づくり」及び「健康寿命の延伸」の3つでございます。

これに「第2期人口ビジョン・総合戦略」を踏まえ、「人のつながり・縁づくり」を加えた4つの重点テーマを掲げまして、引き続き、「住む人も、訪れる人も『ワクワクできる島』えたじま」づくりに取り組んでまいります。

その内容につきましては、後ほど「市長施政方針」の中で御説明させていただきます。

この予算編成のさ中、心を打たれる出来事がございました。

それは、2月1日にいただいた1通のお手紙からでございました。

「初めてお便り致します 私の夫は、昨年12月6日、旅立ちました」と、毛筆でしたためられたお手紙は、江田島市になってからは、アルファベットで「T・M・K」さんとして、旧江田島町時代には、ひらがなで「こばやし」さんとして、半世紀以上にわたり、住所も明かさず匿名で毎月寄附を郵送され続けた方の奥様からのものでございました。

このお手紙には、御主人の小林様が若い時分、海上自衛官として、第1術科学校で「気象学」を学ばれたこと、山歩き・山登りのために再三、島を訪れていただき、いつしか、寄附をされるようになったことが、記されておりました。

○山歩きで迷った際には、市民の方に同行され、山を案内されたこと
○新婚旅行にもザックを背負っての山スタイルで本市を訪れていただいたこと
など、本市への愛情あふれるエピソードが、便せん4枚にしたためられておりました。

私は、直ちにお電話で、お悔やみとこれまでの長きに渡る寄附に対するお礼を述べさせていただきました。

そして、奥様にお手紙を頂き、御主人から『江田島をもっともっと良いまちにしてくれよ』と発破をかけていただいた気持ちです。」と、お伝えし、奥様が来訪される際には、本市を御案内することをお約束するとともに、深い御縁を頂いたことに心からの感謝を申し上げました。

たった数箇月の第1術科学校の生活の中で、住民の方との出逢い、つながりによって、54年以上届いた毎月の寄付、本当にできることではありません。

江田島の地での出逢いが小林様に感動を与えたのだと、胸を熱くいたしました。

小林様から頂いた思い、江田島市をよりいいまちにすること。

私は初心に返り、この思いを職員と共有し、誠心誠意、努めてまいります。

議員各位の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

さて、今議会では、江田島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案など、当面する市政の重要案件につきまして御審議をお願いすることといたしております。何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。

それでは、2月開会の臨時会以後の市政の主な事柄につきまして、報告させていただきます。

市政報告書 1 ページ、1 項目め「新規就農研修生の修了証書授与式について」でございます。

2月8日、第8期新規就農研修生の修了証書授与式を、市役所で行いました。

新規就農研修制度は、市、広島県、呉農業協同組合、生産者団体などが連携しながら、独立就農を目指す方を対象に、研修を行うものでございます。

今回研修を修了した やまむら 山村 ひでき 英輝さんは、令和2年4月から令和3年12月までの間、かき 花卉（トルコギキョウ）の栽培の研修を行いました。

市の重点テーマの一つである「しごとの創出」につながるよう、今後も本制度による支援を図り、地域農業の活性化に努めてまいります。

他の項目につきましては、報告書のとおりでございます。

以上で、報告を終わらせていただきます。